

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



廃棄プラスチックを資源に

企業センターで新たな事業が始動



▲うみがめキーホルダー

▲うみがめキーホルダーを制作する長須さん親子

私たちの生活に欠かせないプラスチック。便利な反面、廃棄されたプラスチック（以下、廃プラ）が、海の環境に深刻な影響を及ぼすなど、問題も発生しています。この廃プラを資源として再利用しようとして、市第2企業センター（旧津屋崎郷づくり交流センター）に、廃プラのリサイクル体験ができる場とモノづくりセンターを兼ねるTSUYAZAKI BASE CAMPが新たに誕生します。10月のオープンを前に「廃プラリサイクル体験と海岸清掃」のイベントが9月12日に開催されました。参加者は、細かく砕いたペットボトルキャップを高温で溶かし、型に流し込むなどの工程で「うみがめキーホルダー」を制作した後、海岸清掃を実施。施設の代表を務めるアグリフィールズ合同会社代表の古川隆邦さんは「体験や海岸清掃を通して、海岸などのごみに対する新たな気付きを持ってもらえたら」と思いを語っていました。

Wフェアで福津のグルメを満喫

「鯛茶づけフェア」と「光の道開運スイーツフェア」を同時開催



▲笑顔で鯛茶漬けを試食する新木さん

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を延期していた「ふくつの鯛茶づけフェア」と、「光の道」を連想させる22店舗のスイーツはどれもオリジナリティあふれる商品。期間中、福津のグルメを満喫しようとして、大勢のかたが福津を訪れています。フェア開始日の9月16日には、2つのフェアの成功を願う祈願祭を宮地嶽神社で実施しました。鯛茶漬けとスイーツを試食した、アイドルグループ「PINKY」に所属する市親善大使の新木さくらさんは「鯛がプリプリで、スイーツもとてもおいしい。自信を持ってお勧めします」と笑顔で話してくれました。

新発見に興味津々

新原・奴山古墳群の30号墳の発掘調査現地説明会を開催



▲市職員から周溝の説明を聞く参加者の皆さん

9月13日に新原・奴山古墳群の30号墳で発掘調査成果の現地説明会を開催しました。説明会には午前と午後を合わせて市内外から140人が参加。30号墳は過去の大雨などで法面が崩れ、保存修理のために昨年12月から調査が続けられました。調査では古墳の築造工程が分かる痕跡や周溝など、さまざまな新発見がありました。市外から家族で参加した大高美季さんは「貴重な発見が多く、とても興味深かった」と話してくれました。

目指すは最高の力泳で

渡辺三空さんが2年連続で日本選手権水泳競技大会に出場



▲笑顔で握手を交わす原崎市長と渡辺さん(写真左)

市内在住で九州共立大学1年の渡辺三空さんが、10月に行われる第96回日本選手権水泳競技大会のオープンウォータースイミング競技に出場します。この競技は、川や海などで行われ、今回は海を10km約2時間かけて泳ぐそうです。コロナ禍で自主練習を余儀なくされた渡辺さん。「8位入賞を目指したい」と意気込みを語ってくれました。

より良く子育て情報を届けるために

子育てサービスマップ作成のワークショップを開催



▲マップの原案に目を通す参加者の皆さん

市では九州大学と子育て支援に関する情報をまとめたサービスマップ作成の共同研究に取り組んでいます。分かりやすく使いやすいサービスマップを作るため、9月1日にワークショップを開催。ワークショップでは、幅広い子育て世代の市民から、当事者の視点で、たくさん意見を聞いてもらいました。九州大学の平井康之教授は「皆さんからもらった意見を反映させ、より良いマップに仕上げたい」と語りました。

今後の台風にも十分な注意を

台風9・10号が襲来



▲台風9号で倒壊した福間漁港海浜公園の柵

9月上旬に台風9・10号が九州に接近しました。特に、非常に強い勢力で接近した台風10号は最大瞬間風速80mと予想され、市中央公民館やカメリアホールなどの避難所に699人も人が避難する事態となりました。幸い、台風による負傷者などは出なかったものの、木や看板、柵、ビニールハウスなどが倒壊する被害が発生しました。